

2021 年度第 4 回理事会 議事録 2021.9.16

日時：2021 年 9 月 16 日（木）19：00～21：07

場所：オンライン開催のため各自自宅・職場

出席理事：神保武則(会長)、田中ゆかり(副会長)、金山桂(副会長)、吉本雅一(事務局長)、玖島弘規、佐々木秀一、奥原孝幸、佐藤隼、遠藤陵晃、野本義則、神田崇央、佐藤範明、戸塚香代子、木村修介、望月強併、澤口勇、西川航平、大郷和成（18 名）

出席監事：錠内広之、野々垣睦美（2 名）

I. 会長より挨拶

通帳とカードの紛失アクシデント事例が続けて 2 件発生しました。管理方法についての強化や対策については臨時三役会で検討しました。財務部から詳細の説明・共有がありますが、各部署ともに会員の意思と期待を背負って業務にあたっていることを再度自覚してください。

また、47 委員会では中村会長より強いメッセージを頂きました。協会の組織率は現在 60%を切り低下しています。私たちの職域や診療報酬改定について国へ陳情していくには、組織的な働きかけが重要です。当会の組織率は 70%台ですが私たちも組織率をさらに向上し、作業療法士の有用性を訴え確実なものとしていく必要があります。特に診療報酬として認められている『生活行為向上マネジメント加算』については、その普及と取得率の向上が重要と言われています。中村会長が中医協の役員となった今、作業療法士協会の会員のみなさんの成果と意見を伝える絶好の機会です。私たちの将来の雇用を守るためにも結果を出していくことが肝心となります。当会の会員のみなさんにもその点について適宜お伝えしていきます。宜しくお願いします。

本日の理事会の司会進行は吉本事務局長にその任を依頼します。

II. 報告事項について(トピックス・各部署・理事・三役)

【各部署】

1. 財務部

(1)通帳とカードの紛失事案について

2 件の紛失事案有り。口座取引を停止したが、不正な利用はなかった。再発行予定。要因と予防対策について説明・共有し、各部署管理対策の実施と強化を依頼した。

<要因>

- ア)自宅内の保管場所が徹底されていなかった
- イ)他の資料や書類と混在してしまう場所に置いてあった
- ウ)理事や会計担当者が初任であった(不慣れな部分があった)
- エ)通帳やカードの受け渡し方法についての周知が不足していた
- オ)会計説明会において「通帳・カードの管理方法」まで説明できていなかった
- カ)会計に関する事項についての情報発信が不足していた

<予防対策>

- ア)公的な書類や会計関連の物品については自宅内のプライベートスペースや固定した保管場所でのみ管理をするよう徹底する
- イ)自宅や職場においても作業する場所は 1 ヶ所に限定して物品を様々な場所に持ち運ばないようにする
- ウ)会計関連物品の受け渡しはレターパックプラス（発送追跡や本人受け取り）で個人宅に送ることを第一優先とする

- エ)通帳・カードの保管においてファスナー付きの袋で保管する
- オ)次年度より通帳・カードを郵送する際、ファスナー付きの袋に入れて郵送する
- カ)会計説明会において「通帳とカードの保管方法」や「レターパックの使用方法」についての説明も行う
- キ)特に新任の理事・会計担当者に対して、疑問点があれば財務部まで問い合わせができるよう情報発信を行う

(2)中間監査について

10月16日(土)に実施予定。追って理事メーリングリストで詳細や書類送付の締切について案内する。

(3)研修会参加費の振込口座の表記に関して

口座名には代表理事の名称を表記しないことで統一する。

2. 学術部

(1)研究助成事業の申請・審査に関して

2件の研究助成事業への申請があり合議審査にて承認。理事会にて説明確認を行った。学会がオンライン開催になった際の交通費は返金することで了承済とのこと。換金性の高い物品の中で、他の会員へ貸し出して使用できる可能性のあるものについては今後検討する。

3. 教育部

(1)臨床実習指導者養成状況に関して

臨床実習指導者資格要件である臨床実習指導者講習会受講等に関して全国都道府県の数値状況等を報告。神奈川県目標 965 人に対し養成数 539 人 (2020 年 3 月 31 日まで)。今年度 4 回開催予定。のべ 400 人を養成予定。目標に対し 26 人不足であり、5 回目の開催も状況を鑑み、検討している。

(2)生涯教育 手帳の移行手続きについて

9月30日締め切り。県土会ウェブサイトにはすでに掲載済み。教育部への質問も受け付けている。部員や周辺会員へ周知する。

<ポイント発行について>

県土会主催研修会：参加者名簿を教育部へ送付し一括して手続きを行う

SIG 研修会：参加者証明書を発行し参加者各自が手続きをするよう説明する

4. 制度対策部

(1)災害時安否確認システムの訓練運用について

9月25日(土)作業療法の日に11時発災と設定し、災害時安否確認システムの訓練運用を実施する。理事メーリングリスト(主)とLINEグループ(従)を使用し安否確認、業務執行状況についての確認を行う。大規模災害時理事会行動マニュアルは理事会後理事メーリングリストで改めて共有する。日本作業療法士協会事務局より2021年度大規模災害発生を想定したシミュレーション訓練と連動して実施する。実施後日本作業療法士協会へ報告書を提出する予定。

5. 学会評議委員会

(1)第18回神奈川県作業療法学会での支払い代行業者の活用に関して

3社を比較検討した結果学会用にイベントペイを契約し運用する。

(2)第18回神奈川県作業療法学会でのZoom契約使用に関して

学会用にZoom(ウェビナーを使用できる)を契約し運用する。

(3)第18回神奈川県作業療法学会の進捗状況について

進捗状況について報告。ウェブ学会マンスリー(11月中旬から12月下旬)。ウェブ学会(12月4日、5日)。

(4)学会の後援依頼先について

第18回の実績を参考にマニュアルへ反映していく予定。

6. 地域包括ケアシステム推進委員会

横浜市にてフレイル予防啓発媒体作成ワーキンググループを開催する。担当部署の西川理事が推薦された。西川理事が当会の担当者として出席する。

【理事】

1. 神保理事

(1)4ヶ年計画(2019-2022年)目的および後期(2021-2022年度)目標についてのウェブサイト掲載についてウェブサイト掲載資料を確認。ウェブサイト管理委員会に掲載を依頼する。

今回は第一報として発信。情報は更新していく。県士会ニュース『会長の部屋』も利用する。

これを基に理事会では具体的な計画を立案し会員に示し実行していく。

エリア化についてはエリア化推進委員会を中心に理事会内、会員間とコミュニケーションを活発にして、目的・方針を明確化しネットワークを構築していく。組織率向上を図る意味では重要な事業戦略と捉える。

2. 金山理事

(1)選挙ワーキンググループより

ア)マニュアルについて

ワーキンググループにて作成中。10月1日付の会員数で決まる各ブロックの代議員数は、端数を四捨五入することを確認する。

イ)今後の代議員選挙のスケジュール予定について

本日：選挙管理委員会の承認 10月：各ブロックの代議員数の決定

11月：選挙公示 12月：立候補開始→締切

1月：投票(定員を超えた場合) 推薦(定員に満たなかった場合) 確定(定員と同数だった場合)

2月もしくは3月：代議員の公表報告

2)Zoomアカウントについて

改めて使用方法とアカウントについて説明。

【三役】

1. 47委員会について(田中副会長)

(1)9月4日開催された47委員会(下記)について渉外報告

ア)中村会長からのメッセージ イ)倫理委員会について ウ)組織率向上について

エ)「協会員=士会員」実現のための検討委員会 オ)災害対策について カ)広報部意見交換会

キ)2022年度重点活動項目・第四次5ヵ年戦略 ク)OT白書アンケートについて

(2)47委員会への出席について

オンライン開催で参加枠が増えていることもあり、各理事積極的に検討いただきたい。

(3)日本作業療法士協会の重点項目や5ヵ年戦略に対する質問・意見について

各理事に協力を依頼する。

2. 事業評価・計画について(田中副会長)

8月度に実施した事業評価・計画に関する理事の質問意見を取りまとめたものを共有した。

11月に開催予定の来年度の事業計画を立案する際に反映する。また、11月には事前に質問・意見を取りまとめる予定。

Ⅲ.審議事項について

1. 各部門の部員承認について

→承認

2. 事務局 事務局員の時給改定について

10月の最低賃金改定に合わせて1,050円へ変更する。

→承認

3. SNS 運用マニュアルについて

公式 LINE アカウントを使用し友達登録者へ当会の情報や作業療法の啓発を行う。他の SNS の使用に関しては今後検討。Facebook との連動は可能。2 次転用を防止するなどのため管理者と運用担当者は限定して開始する。問い合わせ先は専用の県士会ドメイン@kana-ot.jp を作成し運用担当者が対応する。これら、マニュアルとして定め、運用方法を適宜更新していく。

→承認

4. 40 周年記念事業について

澤口理事からの提案を受け、田中副会長から以下の提案があった。

実施期間は来年度中までと変更。プロジェクトチームを結成して計画立案、実行を進める。

計画立案、予算案の立案を綿密に行い、広く会員へ当会の 40 周年を広報し参加できる事業とする。

→承認

IV.その他 連絡事項等

1.議事録署名人について

吉本事務局長から指名があり決定する。神保会長、野々垣監事、木村理事、佐藤範明理事。

2. 県士会員による地域支援活動の活動状況調査について(大郷理事)

第 1 期は 9 月末が締切となっている。引き続き理事・役員、部員、代議員への回答を依頼する。

3. 学会評議委員会より

戸塚理事が 9 月 26 日より産休に入るため田中副会長が委員会のメンバーとして支援する。

4. 周知依頼について

下記について改めて周囲への周知を依頼した。

(1)サンドウィッチマンの「病院ラジオ (リハビリ病院編)」9 月 20 日放映について

(2)岡山県学童保育連絡協議会 「学童保育と作業療法について」地域リハビリテーション部から会員へ周知

5. 監事より

(1)野々垣監事

4 ヶ年計画や目標、SNS マニュアル、事務局員の給与改定など様々な内容が本日検討されました。事務局員の有給休暇の取得状況についても併せて確認をお願いします。引き続き当会の適切な運営のために理事会の議事運営を行ってください。

(2)錠内監事

円滑な議事運営へのご協力ありがとうございました。

議事録署名人	議長：	神保 武則	印
	理事：	木村 修介	印
	理事：	佐藤 範明	印
	監事：	野々垣 睦美	印

次回理事会日程：2021 年 10 月 21 日(木)19 時より開催予定